

## LAN iSilencer の導入(9) (HP 収載)

### —PC の LAN ポートへの装着—

#### 1. はじめに

前報(8)に引き続き、LAN iSilencer の LAN 端子の空きポートへの装着に加えて信号ラインへの装着を試みます。

#### 2. LAN iSilencer の試聴方法

前報(8)の結果から 1 個目の LAN iSilencer はルーターの LAN 端子の空きポートにセットします。今回購入した 2 個バンドルセットのもう 1 個は LAN の信号ラインに使用することにしました。

既にルーター→スイッチングハブの信号ラインには使用済ですので、スイッチングハブから PC、Sonica DAC、fidata HFAS1-S10、DMR-UBZ1 の 4 候補がありますが、再生頻度の多いスイッチングハブから PC の信号ラインに使用することにしました。この場合は、干渉防止用 LAN アダプターを使用せず、直接 PC の LAN ポートに装着します。



録音対象の音源は、前報(8)同様、PC による STAGE+ と Spotify の配信の再生から選んでいきます。

#### 3. LAN iSilencer の試聴結果

STAGE+ から下記を再生しました。

シューベルト ピアノ 5 重奏曲「鱒」1 楽章

リサ・パティアシュベリ他

ベートーヴェン ピアノソナタ 32 番

マウリチオ・ポリーニ(ピアノ)

Spotify から下記を再生しました。

アントニオ・ヴィヴァルディ チェロ協奏曲 Fmajor

**Hrriet Krijgh(チェロ)**

**Candida Thompson 指揮 Amsterdam Synfonietta**

**J.S.バッハ リュート組曲 Gminor**

**Alberto Grugnola(リュート)**

PCのLANポートにLAN iSilencer経由でスイッチングハブからのLANケーブルを接続しますと、シューベルトのピアノ5重奏曲「鱒」は、顕著な変化とは言えませんが、弦がより滑らかになり、コントラバスの音が明瞭になり、全般に間接音も含めた細かいニュアンスが汲みとれます。

ベートーヴェンのピアノソナタ32番は、打鍵の音には変わりありませんが、打鍵に続く余韻が豊かになります。

ヴィヴァルディのチェロ協奏曲Fmajorは、チェロとバックのアンサンブルの音が滑らかになり、響きが優しくなってきます。

バッハのリュート組曲Gminorは、弦のピックの様子は変わりませんが、弾いた後の余韻が豊かになり、細かいニュアンスがとりやすくなります。

#### 4. まとめ

PCのLANポートにLAN iSilencer経由でスイッチングハブからのLANケーブルを接続しますと、全般に音が滑らかになり、細かい表情のニュアンスが把握しやすくなります。

以上